

令和7年度 事務事業マネジメントシート		段階： 令和6年度実施事業に係る事務事業評価					6501	幼児肥満予防対策事業				こども部		こども家庭課				
1 事業概要		中事業番号		618											所属コード		222500	
政策体系		SDGs	広域事業	総合戦略	セーフ	2025	2030	2040	2050	D X 推進	手段	意図（目的）						
大綱（取組）	Ⅲ「学び育む子どもたちの未来」	3.2		3-2			○				健診等において幼児や保護者に対し肥満予防に関する指導を行う	肥満予防のための正しい食習慣に関する知識の普及が図られる						
施策	1 人と人とがつながり、みんなで子どもたちを育むまち																	

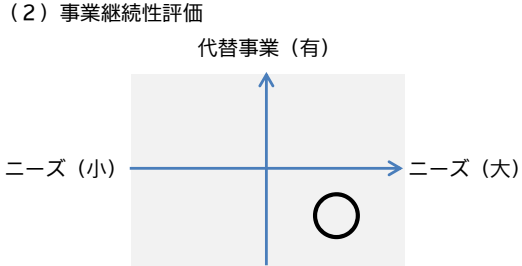
事業開始時周辺環境（背景）		現状周辺環境		今後周辺環境（予測）		住民意向分析	
東日本大震災による原発事故に伴い、肥満傾向にある幼児が増加しており、小児の生活習慣病予防のためにも正しい食生活習慣を図る必要がある。		東日本大震災による原発事故に伴い、肥満の割合が増加したことから平成27年度に栄養士が配置され、事業化した。現在も肥満の割合が高いことから、小児の生活習慣病予防のためにも正しい食生活習慣を推奨する必要がある。		小児の肥満は、将来生活習慣病を引き起こす可能性が高いと予測されることから、個々に応じた指導を行い、正しい食生活の確立を図る必要がある。		栄養相談後に「工夫の仕方がわかった。」「目安量がわかった」との声が聞かれることから、保護者の栄養に関する悩みや不安をその場で解消するために健診の場が大切な機会となっている。また、栄養士から食生活に関する知識を発信する場にもなっており、正しい知識の習得にもつながっている。	

2 事業進捗等（指標等推移）			まちづくり基本指針五次実施計画		まちづくり基本指針六次実施計画		まちづくり基本指針七次実施計画		まちづくり基本指針八次実施計画		次期実施計画		次期実施計画		まちづくり基本指針	
指標名	指標名	単位	2022年度（令和4年度）		2023年度（令和5年度）		2024年度（令和6年度）		2025年度（令和7年度）		2026年度（令和8年度）		2027年度		2028年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画	中間指標 2021年度	最終指標 2025年度
対象指標	健診対象人数（1歳6か月児・3歳児）	人		4,729		4,648		4,077								
活動指標①	1歳6か月児健診受診者数	人	2,400	2,309	2,300	2,220	2,200	1,821	2,100		2,100		2,100	2,100		
活動指標②	3歳児健診受診者数	人	2,500	2,376	2,400	2,321	2,300	2,251	2,200		2,200		2,200	2,200		
活動指標③	栄養士による相談対応件数	件	150	184	180	140	180	131	150		150		150	150		
成果指標①	1歳6か月児健診で肥満傾向にあるものの割合	%	4.5	5.2	4.5	5.1	4.5	6.6	4.5		4.5		4.5	4.5	4.0	4.5
成果指標②	3歳児健診で肥満傾向にあるものの割合	%	5.5	5.1	5.5	4.6	5.0	5.9	4.8		4.8		4.8	4.8	5.5	4.8
成果指標③	健診における個別指導件数	件	530	1,278	1,000	1,205	1,000	1,044	1,000		1,000		1,000	1,000	500	1,000
単位コスト（総コストから算出）	健診受診者1人あたりのコスト	千円		0.9		0.8		0.9	0.9		0.9		0.9	0.9		
単位コスト（所要一般財源から算出）	健診受診者1人あたりのコスト	千円		0.8		0.8		0.9	0.9		0.9		0.9	0.9		
事業費		千円		1,273		1,333		1,582	1,555		1,596		1,596	1,596		
人件費		千円		2,924		2,371		2,210	2,371		2,371		2,371	2,371		
歳出計（総事業費）		千円		4,197		3,704		3,792	3,926		3,967		3,967	3,967		
国・県支出金		千円		636												
市債		千円														
受益者負担金（使用料、負担金等）		千円														
その他		千円														
一般財源等		千円		3,561		3,704		3,792	3,926		3,967		3,967	3,967		
歳入計		千円		4,197		3,704		3,792	3,926		3,967		3,967	3,967		
		実計区分	評価結果	継続	継続	継続	継続	継続		継続						

活動指標分析結果		成果指標分析結果		総事業費（事業費・人件費）分析結果	
1歳6か月児健診、3歳児健診ともに対象者が減少しているが、健診の受診率は、98%以上を保っている。幼児健診受診者全員に対し、個別に栄養相談を行うことになり、窓口等での栄養士の相談件数は横ばいで推移している。		1歳6か月児健診、3歳児健診ともに、肥満傾向にある者の割合が増加してしまった。幼児健診では、受診者全員に対して個別指導を行っており、その中でも重点的に個別指導の必要な方については件数が減少しているものの、2023年度25.9%、2024年度25.6%と実施割合はほぼ変わらない状況である。		【事業費】 協力栄養士の報償費単価が上がったため事業費も増加した。	
				【人件費】 健診等は協力栄養士の出場が多くなり、事業自体を会計年度職員で担うようになることが多くなった。そのため人件費が減少した。	

3 一次評価（部局内評価）

(1) 事業手法評価				
1 規模・方法の妥当性		4		
2 公平性		3		
3 効率性		3		
4 活動指標（活動達成度）		4		
5 成果指標（目的達成度）		4		



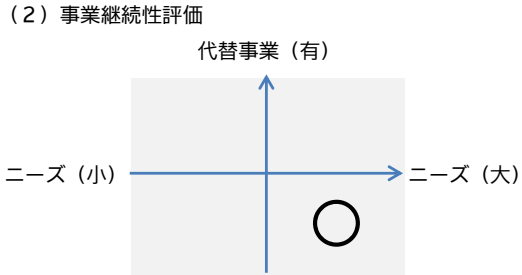
継続	一次評価コメント
幼児健診において、肥満傾向にある幼児、食生活に問題を抱えている幼児の保護者に対して栄養指導を実施するものである。幼児期の肥満を予防することが、成人期の生活習慣病予防につながるため、保護者に対して幼児期の食事の重要性を理解してもらい、適切な食習慣の形成をすることが重要であることから、今後も継続する必要がある。1歳6か月児健診受診時の栄養相談を契機に、児の食生活を司る保護者に食習慣について再考してもらい、3歳児健診に肥満傾向の児を減少させるためにも必要な事業である。	

5レス	カウンターレス	キャッシュレス	ペーパーレス	ファイルレス	ムーブレス（会議レス）

気候変動対応	D X (デジタル市役所)	部局間協奏
		○

4 二次評価

(1) 事業手法評価				
1 規模・方法の妥当性		4		
2 公平性		3		
3 効率性		3		
4 活動指標（活動達成度）		4		
5 成果指標（目的達成度）		4		



継続	二次評価コメント
令和6年度における1歳6か月児健診受診者数は1,821人、3歳児健診受診者数は2,251人であり、高水準を維持している。過去の実績と比較すると、肥満傾向児の割合が微増しているものの、支援が必要な対象者へ重点的にフォローアップを行うことで対応しており、その実施割合は前年度比と同程度の水準で推移している。 幼児期の肥満予防は将来の生活習慣病予防に不可欠であり、今後においても継続して事業を実施する。	

(参考) 令和6年度カイゼンのための行動計画